

仏エシロールと伊ルクソティカ

2大グローバル企業が合併 新会社「エシロールルクソティカ」設立

発行日/毎月 1日、11日、21日
 発行所/眼鏡光学出版株式会社 編集発行人・美濃部 隆
 (本社) 〒110-0016 東京都台東区台東1-8-7 TEL.03-5818-1871 FAX.03-5818-1870
 (福井支局) TEL.0778-5279500 FAX.0778-526218

眼鏡新聞

息づくヨーロッパの感性!
 シャコワ
Chaconne
 フレーム
 株式会社 **タスクオプチカル**
 〒110-0016 東京都台東区台東4-26-9 TEL.(5688)054140

仏エシロールと伊ルクソティカは1月16日、合併を発表した。新会社名は「EssilorLuxottica」(エシロールルクソティカ)で、新会社は世界150カ国で事業を展開、連結売上は150億ユーロ(約1兆8千億円)を超え、従業員は14万人以上となる。2大グローバル企業の連携による相乗効果が期待される。

ヴィジョンケア及びプレミアムブランドのニーズが拡大する中、アイウェア業界における2大グローバル企業が連携を図ることになった。1月16日、エシロールとDelfin(デルフィン、ルクソティカの持ち株会社)は、エシロールとルクソティカグループの連携のもと、健康なヴィジョン及び優れた消費者体験を提供する事を目的に、合併に調印したことを発表した。デルフィンはルクソティカ1株当たり、エシロール0.461株を株式交換比率として、エシロールに対してルクソティカの株式を譲渡する。

エシロールは、デルフィンによるルクソティカ株式の譲渡に伴い、「エシロールルクソティカ」を新会社名とした持ち株会社となり、エシロールにおける全事業活動を当該持ち株会社の100%子会社であるエシロールインターナショナルに譲渡する。ルクソティカの持ち株会社であるデルフィンは新会社の31.38%の株を保有し当該持ち株会社の筆頭株主となる。ルクソティカのレオナルド・デルベッキオエグゼクティブチエアマンは、エシロールルクソティカのエグゼクティブチエアマン兼CEOに任命、エシロールのユベール・

サニエール会長兼CEOはエシロールルクソティカのチエアマン及びCEOと同等の権限を保有するエグゼクティブチエアマン兼CEO代理に任命される。デルベッキオ氏及びサニエール氏は、ルクソティカのエグゼクティブチエアマンまたはエシロールインターナショナルのCEOとしてそれぞれ職務を継続する。

新会社エシロールルクソティカは、世界72億人(うち25億人はまだ視力矯正を受けていない)を対象にヴィジョンケアをより積極的に提供、アイウェアによる視力矯正と目の保護と、ブランド力により高まる需要を受けて、さらなる拡大を目指す。今回の合併により、従業員数は14万人を超え、150カ国以上で事業を展開することになる。2015年の両社の財務結果から、新会社の純売上高は150億ユーロを超え、EBITDAは約35億ユーロ。予備解析によると、グループはさらに売上を増やし、コストにおけるシナジイを中期的に4億ユーロから6億ユーロ見込んでおり、長期的にはさらに多くの売上を見込んでいる。また、強靱な財務状況やキャッシュフローを実現可能にし、将来の成長に向け

眼鏡光学出版ホームページ
<http://www.gankyo.co.jp>
 当社ホームページのニュース記事が閲覧できます。閲覧には以下のユーザー名、パスワードをご入力してください。

ユーザー名 **gan**
 KYO▽1月中のパスワード **o4S**
 gmax▽2月のパスワード (2月1日午前10時から) **06vjbwv**
 3月のパスワードは本紙2月21日付け紙面に掲載します。

た投資を社内外に図っていく。

している。

統合に当たり、エシロールのサニエール会長兼CEOは「今回は一つのシンプルな考えに基づいている。それは視力矯正を求めている莫大な数の人々のニーズに応えること。そしてレンズに特化している企業とフレームに特化している企業、二つの偉大な企業が一つになることで、目の保護に貢献していくことだ。ルクソティカは最高水準のサプライチェーンと流通網のもと、一流ブランドを築き上げた。一方エシロールは168年に及ぶイノベーションと優れたテクノロジーの歴史の中で、眼鏡レンズ及び、サンレンズの設計、製造を展開してきた。国際的な2社が力を合わせることで、眼鏡業界はもとより、よりグローバルに、より多くの消費者、従業員、株主の皆様へ、より多くベネフィットを還元していきたい」、デルフィン社長でルクソティカエグゼクティブチエアマンのデルベッキオ氏は「今回の合意によって、私の夢であったアイウェア業界ですべての分野を兼ね備えた包括的なグローバル企業を設立することが現実のものとなった。我々がこの方向こそが正しいソリューションだと考えて久しいが、この度ようやく実現した。それぞれの部門における主要な企業2社が歩み寄ること、マーケティング、従業員、そして主に消費者の方々へより多くのベネフィットをもたらすと考えている。50年経つてようやく、フレームとレンズという相互補完関係にある2つの商品が一つ屋根の下、設計、製造、流通することになった」とコメント

株式会社エシロールのジョイントベンチャーパートナーでもある仏エシロールは、世界トップレベルの眼鏡光学企業で、眼鏡レンズに革新的なソリューションをもたらすことで成功を収めてきた。国際的にも認知度の高いブランド(Varilux®、Crizal®、Transitions®)を展開、最先端のメソッドを活かし、サンウェアやオンライン販売にも新しいアプローチを展開している。2015年度の連結売上は67億ユーロ以上、全世界で6万1千人の従業員を抱えている。製品は世界100カ国以上に流通、32のプラントと490の特注ラボとエッジング施設、5つのR&Dセンターを保有している。ルクソティカは1961年の創立以来、Ray-Ban®、Oakley®といったライセンスのブランドを含め、世界的なアイウェアブランドを確立してきた。先進国・途上国の両市場で小売店と卸店ネットワークを展開すると同時に、デジタルコンシューマーと言われる新しい世代を取り込むため、eコマースも展開。最先端の研究開発、機器、素材やプロセスを駆使し、高い品質のスタイリッシュなフレームを製造している。2015年度の純売上高は約90億ユーロで、従業員数は8万人を超える。

また、投資家説明会が1月16日午前8時45分(中央ヨーロッパ時間)に英語で行なわれた。説明会では、エシロール、デルフィン、ルクソティカグループの事業概要などに関する説明が行なわれた。

Nikon

無限の極みへ、SEE。

SEE
MAX
シー マックス

3Dフルオーダーメイド
単焦点メガネレンズ

株式会社 **ニコン・エシロール** 130-0026 東京都墨田区両国2-10-8(住友不動産両国ビル) TEL.03-5600-1375 www.nikon-lenswear.jp